

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

No.81
2023年
3月10日

〒680-0833 鳥取市末広温泉町211誠ビル3階(鳥取県労連気付)
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

平和 いのち 暮らしを壊す 大軍拡・大増税にNO!

求められる
戦争しない国づくり

昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵略から、早一年が過ぎます。2月21日の国連人権高等弁務官事務所の発表によれば、ウクライナ市民の犠牲者はことも4877人を含む8006人に上ったといわれます。一方、両国兵士の被害については、恐らく双方ともに10万を超える死傷者が発生していると推計され、国外避難民も800万人を超えています。

2月21日のNHK朝のニュースは、キウウ市民1000人意識調査の結果を報道しました。そこでは、軍事侵攻で何が変わったかの第一位は「健康状態の悪化」で33%、収入が減った家族との離散などよりも上位でした。住民の「健康」を守るのが民連の最大ミッションですが、戦争が直接の生命の危機だけでなく、最大の健康被害であることが実感させられます。

私たちは、改めて平和への願いとあらゆる戦争の否定、この戦争の即時の停戦へ向けて、国際社会が声を発し続けること、まして自国が、戦争を仕掛ける軍拡の道へ進んでゆくことに基づき「戦前」の意思表示をしたいと思います。自党内の石破茂氏にさえ国会質問で

「時代遅れ」と指摘されるトマホークの2000億円の爆買いなど軍備の無駄遣いをやめ、物価高騰などで困窮する住民への生活・社会保障・教育・福祉予算の拡充と平和外交で戦争をしない国づくりこそが今最も求められます。

鳥取県民主医療機関連合会
会長 中田幸雄

すでに戦時体制

昨年末の民放TV番組「徹子の部屋」で黒柳徹子さんに「来年はどんな年？」と聞かれたタモリさんが、「新しい戦前になるんじゃないですか」と答え、「新しい戦前」という言葉がSNS上で飛び交いました。

『新しい戦前』どころか、田中優子氏(前法政大学総長)のように、『すでに戦時体制』という識者もいます。わが国の政府は昭和に入つて右傾化を強め、まず気に入らない学術研究者を止めさせ、次いで教育や、出版・マスコミなどの言論に圧力を加え、巧みに戦争への総動員体制を敷いていきました。現在の安倍・菅・岸田と続く自民党政権の路線は、まさに「戦前」のそれと変わりません。

「戦前と似ている」と言っても、戦後生まれの人には理解しがたいところもある

でしょう。しかし私たちは、今の状況を危機感を持って伝えていかなくてはならないと思います。安保法制を廃止し、立憲主義を取り戻す末恒の会

会長 田中久大

ミサイルよりミルクを

米価下落で米を作ってもメシ食えない、乳を搾っても廃棄するしかない。農家は存立の危機に瀕しています。なのに、60キロ1万4千円もするミニマムアクセス米を77万トン、乳製品を13・7万トン輸入しています。食糧自給率は38%。食料は外国から買えばいいという時代は終わりました。

今こそ「ミサイルよりミルクを」を合言葉に、大軍拡を止めさせ、食料自給率の向上に農政の大転換を実現させましょう。

鳥取県農民運動連合会
事務局長 岡田厚美

メディアの情報だけでなく自らも学習を

昨年12月出版の『沖縄戦火の放送局』と『西山太吉最後の告白』は、沖縄戦と沖縄返還に直面したメディア関係者の記録です。著者はNHK沖縄放送局チーフディレクターの渡辺考氏、元毎日新聞記者の西山太吉氏。渡辺氏は「放送報国か

ら私たちは自由になれるのか？」を問い、西山氏は「沖縄返還密約が日本の形を変えてしまった。根源は

岸、佐藤、安倍の三代にある」と語る。政府が「敵基地攻撃能力保持」に猛進する今日、メディアの影響は計り知れない。それだけに私たちのなすべきことも

6月3日鳥取市・4日米子市での前泊博盛氏を迎えての講演会を、一緒に考える場にしたと思います。

沖縄と連帯することの国会
事務局長 平良忠弘

大軍拡・大増税で国民が守れるのか

私たちは、何よりも平和であること、子どもの健やかな成長、自らの地位向上を願い活動しています。

ロシアのウクライナ侵略は、戦争の実態をテレビの画面を通して伝え、一年が経過しました。戦火の中、泣きながら両親を捜し求める子どもの姿は、あらためて戦争の悲惨さを映し出しました。

岸田政権は、大軍拡・大増税でどうして国民を守ろうとしているのか。過去の経験からも大きな嘘であることを国民は見抜いているはずだ。かつて戦争を止められなかった大人の罪を二度と繰り返

さないよう、大人の団結こそ求められています。

新日本婦人の会鳥取県本部
会長 山内淳子

大軍拡・大増税に反対

このまま大軍拡が進めば戦争になり、真っ先に戦場に行かされるのは私たち青年です。はたちのつどいに来ている青年にシールアンケートで「日本はどうしたらよいか」と質問すると、軍事強化2票、平和外交23票という結果となりました。対話した大学生から「戦争が終わってほしい」「岸田さんは外交努力が足りない」「給料が少なくて減税してほしい」との声を聞いてきました。

青年は大軍拡・大増税は望んでいません。青年と共に声を大にして訴えていきたいと思えます。

日本民主青年同盟
委員長 杉本純平

軍事費倍増[5兆円]あったら何ができるか?

子育て・教育	大学授業料の無償化	1.8兆円
	児童手当の高校までの延長と所得制限撤廃	1兆円
	小・中学校の給食無償化	4386億円
年金	受給権者(4051万人)全員に1人年12万円を追加で支給	4兆8612億円
	公的保険医療の自己負担(1~3割)をゼロに	5兆1837億円
消費税	現在10%の税率から、2%を引き下げ	4兆3146億円

(東京新聞 2022年6月3日より)

米子で憲法学習講演会(第15弾)開催

鳥取県憲法会議 森下克彦



石川康宏氏の話聞く参加者=2月11日、米子市

鳥取県憲法会議、米子革新懇など呼びかけ21団体が定めた「紀元節」に当たる日を、戦前帰りの兆候の中で、国民の祝日として制定された「建国記念の日」の2月11日、米子市内で、80人が参加した憲法学習講演会を開催しました。

授)が「憲法を活かし、希望のもてる社会をつくらう」と題して、98枚の資料をスクリーン公開、説明する形で行いました。講師は、2022年に現れた平和への後ろ向き

「専守防衛」から「戦争する国」への大転換があった。これに対し、前向きな力として、①ロシアを国連憲章違反とする国連決議が3回、②ASEANを中心とした、対話外交による平和の流れの前進、③日本では「大増税・大軍拡反対」の声の高まりがあることを説明。次には、戦争する国へ方向付ける「安保3文書」の内容を説明し、同文書を撤回させるために、岸田政権の「専守防衛」と「日本を守るため」というウソを広く知らせる必要性を強調。そして、ス

沖繩レポート(2)

基地のない平和で豊かな沖繩をめざす会 芳沢 あきこ

3月4日、辺野古で月一の県民大集会がありました。県民は声を上げ続けるしかありません。どうぞこの危機感を共有していただきたいと思います。

返還前の沖繩にアメリカが石油資源という種をまき、中国船がうろうろし始め、前原が粋がつて船長を拿捕し、石原がアメリカ軍事産業の手先となり、野田が尖閣諸島を買い取って決定的に中国にポイントを与えた。アメリカ軍需産業はウクラ

それが南西諸島に拡大し続ける自衛隊基地の正体だ。与那国島民は、「自衛隊配備は過疎化を止めるだけ」と思っていた。が、アメリカとの合同訓練が頻繁に行われ、弾薬庫が造られ、ミサイル配備までされる。シェ



昨年12月27日、与那国島公道を走る戦車



「教育と愛国」が映画になったことを知り、電光石火で建国記念の日の上映会が実現しました。新日本婦人の会鳥取支部の協力も得て、2日間で5

「戦前」とならないように、このような良質な映画が生まれ、多くの人が観られるように願います。

鳥取市9条の会 副代表 中田裕子

「教育と愛国」上映会

「建国記念の日」に鳥取市9条の会

鳥取市9条の会では様々な形で情勢を学ぼうと、映画会を計画しました。折しもこれまで数々の賞を受けた報道テレビ番組「教育と愛国」が映画になったことを知り、電光石火で建国記念の日の上映会が実現しました。新

2006年に安倍内閣の下で教育基本法が改正され、教育は「この法律の定めるところにより行われるべきもの」と、教育への政治的介入に道を開きました。また教育の

国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた：国民の育成」と限定されました。必要な資質。それは「伝統を継承し」「公共の精神を尊び」「我

が国と郷土を愛する」という、旧基本法にはない文言に明らかです。この映画は、新教育基本法の下、安倍政権の所謂「自虐史観からの脱却」に基づき、歴史教科書への不当な政治的介入の実態を追った、齊加尚代監督のドキュメンタリー映画です。

教科書作成への政府の圧力により侵略の歴史をなかつたことにする「今」を見せた恐ろしい映画、物語の「パン屋」を「和菓子屋」に替える滑稽、良心的な大手教科書会社がたちまち倒産に追い込まれる理不尽、政府に同調する教科書(育鵬社)を監修する東大教授が言い放つ「歴史教育の目標

は左翼ではない日本人を育てること」に唾然、日本学術会議問題と同様、意に添わぬ教育者や研究者への政治的圧力、このような恐ろしいことが人知れず行われていることを是非多くの人に知ってほしい、教育と政治の歴史を知って今が反転の時と痛感；等々多くの感想が寄せられました。